

プログラム

【第1会場】

9:25～9:30 会長挨拶

第9回国際臨床医学会学術集会 会長

南谷 かおり (地方独立行政法人りんくう総合医療センター国際診療科
大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座・公衆衛生学)

9:30～11:00 シンポジウム1 (日本国際看護師 (NiNA) シンポジウム) その人らしいエンド・オブ・ライフケア

オーガナイザー：新垣 智子 (地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 患者サポートセンター 兼 国際診療科)

第1部 基調講演

座長：井出 由起子 (地方独立行政法人 りんくう総合医療センター)

S1-1 田村 恵子 (大阪歯科大学大学院看護学研究科 (仮称) 開設準備室)

第2部 パネルディスカッション

座長：桑野 紀子 (大分県立看護科学大学 広域看護学講座 国際看護学研究室)

S1-2 西山 陽子 (地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 救命ICU)

S1-3 西本 好栄 (社会福祉法人栄公会 訪問看護ステーションナース栄公)

S1-4 許 由希 (社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大阪府済生会中津病院)

11:05～11:55 基調講演 ポストコロナ時代の日本国際臨床医学会のめざすところ

座長：南谷 かおり (地方独立行政法人りんくう総合医療センター国際診療科
大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座・公衆衛生学)

演者：澤 芳樹 (大阪大学、社会医療法人大阪国際メディカル&サイエンスセンター 大阪けいさつ病院、
一般財団法人未来医療推進機構)

12:05～13:05 ランチョンセミナー1 在日外国人の健康権と医療通訳の役割

共催：株式会社BRIDGE MULTILINGUAL SOLUTIONS

座長：長田 智 (株式会社BRIDGE MULTILINGUAL SOLUTIONS グローバルソリューション事業本部)

演者：李 節子 (長崎県立大学 名誉教授)

13:15 ~ 14:45 シンポジウム4
次世代グローバルヘルス人材：イノベーションと国際展開の融合と調和

座長：小野崎 耕平（一般社団法人サステナヘルス）

S4-1 国際保健人材の立場から

中谷 比呂樹（グローバルヘルス人材戦略センター）

S4-2 グローバルに求められる人材とは：国連・国際機関・官民連携機関での経験から

國井 修（公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金（GHIT Fund））

S4-3 医療産業と世界公益を調和させる立場から

谷村 忠幸（クオリップス株式会社）

S4-4 国際的エグゼクティブサーチファームのヘッドハンターの立場から

小松崎 涼子（ラッセル・レイノルズ・アソシエイツ・ジャパン）

S4-5 次世代医療人材養成の立場から

中田 研（大阪大学大学院医学系研究科 国際未来医療学）

14:55 ~ 15:55 スイーツセミナー1 進化する機械通訳で支える新時代の外国人患者対応

共催：コニカミノルタ株式会社

座長：松崎 淳人（東邦大学医療センター佐倉病院 メンタルヘルスクリニック）

SS1-1 浅香 朋美（日本赤十字社 成田赤十字病院 国際診療科）

SS1-2 日野原 千速（国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 国際診療部）

16:00 ~ 17:30 シンポジウム7 日本への医療ツーリズムの新たな価値創造
～受入における医療機関の負担軽減策とは～

座長：渋谷 健司（一般社団法人Medical Excellence JAPAN）

S7-1 医療機関における受け入れの課題提起～看護師・コーディネーターの経験から～

別府 佳代子（一般社団法人Medical Excellence JAPAN 事業部）

S7-2 医療機関における受け入れの課題提起～通訳・コーディネーターの経験から～

明石 雅子（一般社団法人Medical Excellence JAPAN 事業部）

S7-3 外国人患者の受入における医療機関の負担軽減策

堀 成美（東京科学大学大学院医歯学総合研究科 統合臨床感染症学分野、感染対策ラボ）

S7-4 渡航支援企業の役割と医療機関負担軽減の支援

田邊 隆通（株式会社シーユーシー）

17:35 ~ 18:35 一般口演3 日本国際看護師 (NiNA)

座長：大橋 一友 (大手前大学 国際看護学部)

本多 智佳 (滋賀医科大学医学部 看護学科公衆衛生看護学講座)

- 03-1 周産期施設で勤務する助産師・看護師の在留外国人妊産褥婦看護のための学習ニーズ
 高 知恵 (大阪公立大学大学院 看護学研究科)
- 03-2 日本国際看護師が企画した外国人患者に対応する看護職育成のための参加型研修
 伊東 真由美 (大手前大学大学院 国際看護学研究科)
- 03-3 電話通訳利用時の外国人患者におけるコーディネーターの役割
 鈴木 尚美 (社会医療法人寿楽会大野記念病院 病院事務部)
- 03-4 皮膚軟部組織感染症・菌血症と縦隔気腫を合併した観光客に早期の国際搬送を行った一例
 秋元 美穂 (国立国際医療研究センター病院 総合診療科)
- 03-5 日本国際看護師として組織全体の外国人患者対応力向上に向けた取り組みとその成果
 幸野 由加 (地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪国際がんセンター 看護部国際化委員会)
- 03-6 訪日外国人など健康保険を持たない入院患者における民間医療保険の有無とその背景
 日野原 千速 (国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 国際診療部)
- 03-7 医療現場における異文化間コンピテンシーの向上
 ～宗教や異文化に関わる認識と注意点～
 有田 奈未 (九州大学病院 国際医療部 国際診療支援センター)

18:35 ~ 18:45 閉会挨拶・次期会長挨拶

【第2会場】

9:30～11:00 シンポジウム2 医療機関における医療通訳OJTの再考

座長：山田 秀臣（東京大学医学部附属病院 国際診療部）

S2-1 医療機関や通訳者の負担を増やさない追加研修

堀 成美（東京科学大学大学院医歯学総合研究科 統合臨床感染症学分野、感染対策ラボ）

S2-2 医療通訳OJTに係る必要時間

松崎 淳人（東邦大学医療センター佐倉病院 メンタルヘルスクリニック）

S2-3 OJT 研修と医療通訳の質

山田 紀子（一般社団法人通訳品質評議会）

S2-4 オンラインOJT 医療通訳研修の実用性について

友久 甲子（メディフォン株式会社）

12:05～13:05 ランチョンセミナー2 「なぜ日本に外国人患者が集まるのか？」 国際医療の必須条件と目指すもの

共催：ロート製薬株式会社

座長：田村 純人（東京大学医学部附属病院 国際診療部）

演者：堀 信一（医療法人龍志会 IGTクリニック）

13:15～14:45 シンポジウム5 外国ルーツの子どもたちの言語バリアと「発達障害」を とりまく環境を考える

座長：連 利博（霧島市立医師会医療センター 小児外科、鹿児島大学）

吉富 志津代（武庫川女子大学 心理・社会福祉学部）

S5-1 発達障害医療で遭遇する外国ルーツの子どもたち

野中 路子（兵庫県立こども発達支援センター）

S5-2 日本語を母語としない特別支援学級在籍児童の実態調査研究

山室 和彦（奈良県立医科大学 健康管理センター、奈良県立医科大学 精神医学講座）

S5-3 多文化精神科クリニックでの外国につながる発達に課題を持つ子どもと家族の現状

岩木 エリーザ（四谷ゆいクリニック）

S5-4 外国ルーツの子どもたちの言語バリアと「発達障害」をとりまく環境を考える

中萩 エルザ（在名古屋ブラジル総領事館／名古屋ブラジル人民委員会）

14:55 ~ 15:55 一般口演1 外国人患者の受入れ

座長：成島 三長（三重大学大学院医学系研究科 生命医科学専攻臨床医学系講座形成外科学）

座長：海老原 功（社会医療法人財団慈泉会 相澤健康センター 総合管理部）

- 01-1 失踪した技能実習生の対応の実際と課題
おさない やすよ
 小山内 泰代（国立国際医療研究センター 看護部）
- 01-2 国立大学病院の国際化における現状
 ～国際医療を担う部門へのアンケートから～
くろだ ういこ
 黒田 羽衣子（北海道大学病院 国際医療部）
- 01-3 国際医療への展望－医療コーディネーター及び介護事業者の視点から
どん じん
 董 菁（株式会社董董アカデミー）
- 01-4 在日外国人留学生におけるワクチンで予防可能な疾患の罹患と予防に関する現状調査
ののもと ひでとし
 野本 英俊（国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター）
- 01-5 渡航患者受入の推移および課題の考察
ふじた みさと
 藤田 美里（東京大学医学部附属病院 国際診療部）
- 01-6 中規模病院における外国人患者受入れ体制整備に向けた取り組み
たかはし ともこ
 高橋 知子（社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会千里病院 看護部）
- 01-7 医療渡航診療（インバウンド）受入れ実績について
 （2019年度～2023年度、5年間）
いし い たけし
 石井 健（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 国際部・集中治療科）

16:00 ~ 17:30 第1回医療通訳士ワークショップ 医療通訳士のお仕事は楽しいですか？

座長：中村 安秀（日本WHO協会・理事長、大阪大学・名誉教授）

ファシリテーター：ワキモト 隆子（三重大学医学部附属病院 総合サポートセンター）

ファシリテーター：北間 砂織（北海道大学／SEMI さっぽろ）

17:35 ~ 18:35 一般口演4 医療通訳・言語

座長：飯塚 陽子（東京大学医学部附属病院 国際検診センター）

座長：浅香 朋美（日本赤十字社 成田赤十字病院 国際診療科）

- 04-1 プライマリケアへの対応を想定した医療通訳オンライン講座からみえた課題
いのうえ ひろむ
 井上 博睦（NTT東日本関東病院 予防医学センター）
- 04-2 リハビリテーションスタッフの外国語教育の取り組みについて
おなか ひさえ
 尾中 寿江（藤田医科大学東京先端医療研究センター羽田クリニック リハビリテーション部）
- 04-3 医療通訳士による実践的院内語学研修：外国人患者受入れ体制強化への貢献
つる あつこ
 鶴 敦子（福岡赤十字病院 診療支援課）

O4-4 適切な医療通訳コミュニケーションの考察

中牟田 和彦 (株式会社東和エンジニアリング 東和通訳センター)

O4-5 当院における永住帰国中国残留邦人の受診状況と課題

～医療通訳者の視点から～

祁 潔 (九州大学病院 国際医療部国際診療支援センター)

O4-6 当院における機械・電話通訳の使用状況

(診療報酬算定の可能性など)

石井 健 (国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 国際部・集中治療科)

O4-7 外国人患者対応における多言語コミュニケーションの現状

大内 元 (琉球大学病院 地域国際医療部)

【第3会場】

9:30～11:00 シンポジウム3 10年後の国際医療を考える

座長：城戸 初音（倉敷中央病院 医師教育研修部）

佐伯 壮一郎（国立国際医療研究センター病院 救命救急センター 救急科、
大阪大学大学院医学系研究科 社会医学講座公衆衛生学）

S3-1 産科における外国人妊産婦の支援

高田 鼓（倉敷中央病院 看護部）

S3-2 共生社会に向けた保健医療の役割と課題

安齋 寿美玲（京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系）

S3-3 国際医療コーディネーターへのキャリアチェンジ

前田 佐和子（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 国際診療科）

S3-4 臨床と研究の両側面からみた外国人診療の現状と課題

佐伯 壮一郎（国立国際医療研究センター病院 救命救急センター 救急科、
大阪大学大学院医学系研究科 社会医学講座公衆衛生学）

13:15～14:45 シンポジウム6 国際医療コーディネーターに求められる役割と資質

座長：小笠原 理恵（大阪大学大学院医学系研究科 国際未来医療学講座／

大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 国際医療センター）

山田 絵里（大阪大学大学院医学系研究科 社会医学講座公衆衛生学）

指定発言：佐伯 壮一郎（国立国際医療研究センター病院 救急センター救急科／

大阪大学大学院医学系研究科 社会医学講座公衆衛生学）

S6-1 りんくう総合医療センターにおける国際医療コーディネーターの役割と必要な資質

木村 ガーリー（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 国際診療科）

S6-2 外国人患者受入れ医療コーディネート業務の立ち上げに向けた取り組みと課題

永尾 真美（地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター
総務・人事グループ）

S6-3 大学病院における渡航受診者受入れにおいて国際医療コーディネーターがすべきこと

グスマン 里佳（大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 国際医療センター）

S6-4 経験から国際医療コーディネーターの役割についての試み

陶 彬毅（一般社団法人 日本国際メディカルサポート）

14:55 ~ 15:55 スイーツセミナー 2 遠隔医療通訳・機械翻訳の活用による患者の安全と業務効率化への効果とは

共催：メディフォン株式会社

座長：友久 甲子 (メディフォン株式会社)

演者：鈴木 尚美 (社会医療法人寿楽会 大野記念病院)

松尾 慎子 (社会医療法人大阪国際メディカル&サイエンスセンター 大阪けいさつ病院)

吉田 峰子 (大阪公立大学医学部附属病院)

**16:00 ~ 17:00 国際臨床研究者認定指定講習会
アジア地域における臨床試験ネットワーク ARISE の構築と国際臨床試験の実践**

座長：中谷 大作 (大阪大学 健康スポーツ科学教育研究環)

演者：友次 直輝 (国立国際医療研究センター臨床研究センター インターナショナルトライアル部)

17:00 ~ 17:32 一般口演 2 海外との連携

座長：森山 智彦 (九州大学病院 国際医療部)

02-1 令和期の外国人労災の傾向について

山田 秀臣 (東京大学医学部附属病院 国際診療部)

02-2 ポストコロナ社会における遠隔医療相談の展望

相良 理香子 (九州大学病院 国際医療部国際診療支援センター、
九州大学大学院医学研究院 病態制御内科学)

02-3 モンゴルにおける消化器疾患診療の人材育成とチーム医療の導入

森山 智彦 (九州大学病院 国際医療部)

02-4 医療分野に於けるウクライナの需要と日本との協力の可能性

ウリヤーンワ スヴェトラーナ (国際協力機構 (JICA) 中東欧州部ウクライナ支援部)

17:35 ~ 18:35 一般口演 5 異文化コミュニケーション

座長：田村 純人 (東京大学医学部附属病院 国際診療部)

座長：岡村 世里奈 (国際医療福祉大学大学院 医療通訳・国際医療マネジメント分野)

05-1 予後不良な在日外国人患者対応の困難と課題

文 雋 (大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部国際医療センター)

05-2 取り下げ

- 05-3 医学部生における国際視点診療能力育成の重要性と方法論について
王^{わん} 宇清^{ゆうちん} (九州大学 医学研究院)
- 05-4 医療現場における異文化コミュニケーションの課題と改善策について
王^{わん} 宇清^{ゆうちん} (九州大学 医学研究院)
- 05-5 日本の医療機関における外国人患者受入に関する課題と改善策—A病院での事例を通して—
グエン ティタイントゥイ (大学通り合同会社 国際部)
- 05-6 産後うつ病を発症し、母子分離をきたした一例から在住外国人妊婦の診療・ケアを見直す
近松^{ちかまつ} 勇門^{はやと} (長浜赤十字病院 産婦人科)